

令和7年度 北区立第四岩淵小学校 授業改善推進プラン

<1年生>

	学習の様子・課題	授業改善のポイント	補充学習・発展学習
国語	- 平仮名を文字として読むことは、ほぼ全員ができるようになりました。単語や文として捉え、読むことには、まだ課題があります。 - 平仮名を筆順に従い書くことや、促音や拗音、長音などの特殊音節の正しい表記の仕方をくり返し指導する必要があります。 - 話型に沿って自分の考えを話すことは概ねできていますが、聞く際にはしっかりと視点をもたせる必要があります。	- 音読や読書、特殊音節の学習を継続して取り入れます。 - 書写の学習で筆順を正しく捉え直すと共に、全員の児童が正しく鉛筆を持ち、正しい表記ができるよう意識させていきます。また、タブレットのアプリを活用し、筆順の確認や、漢字や片仮名等を覚えるための手立てとしていきます。 「はなしかた名人」「ききかた名人」などを掲示し、普段から聞く際の視点を意識させていきます。	- 朝学習の時間や宿題等で、MIMーPMの補助プリントを活用し、単語として文字を認識できるようにしていきます。 - つまずきのある児童には、学力パワーアップ講師と協力しながら、個別指導を行っていきます。 - 対話の視点を明確にし、話し合う活動を多く取り入れます。 - 家庭学習や授業時間に音読や読書を取り入れ、習慣化できるようにします。
算数	10までのたし算やひき算は、ほぼ全員が正しい答えを出すことができます。一方で、手やブロックを使って計算をする児童に対して習熟をさせていく必要があります。 - 文章題の学習では、文の意味を正しく理解して、立式していけるように、具体的な手立てを準備していく必要があります。	- ブロックの操作をさせ、正しい答えを出せるよう練習させていきます。 10でまとめる活動を多く取り入れ、「10といくつ」の考え方を身に付けさせていきます。 - 文章題の中の「分かっていること」「聞かれていること」などの大切な言葉に線を引かせたり半具体物の操作をさせたりして、正しく立式できるようにしていきます。	- 朝学習や授業中の短い時間、家庭学習を使って、計算カード、プリント、タブレットなどを用いた練習を重ね、定着を図ります。 - つまずきの見られる児童には、少人数担当教員、パワーアップ教員と協力しながら、個別指導に当たります。 - 問題解決型の学習も取り入れていきます。

令和7年度 北区立第四岩淵小学校 授業改善推進プラン

＜2年生＞

	基礎基本調査等の結果から	授業改善のポイント	補充学習・発展学習
国 語	- 漢字の学習に苦手意識のある児童が見られるので、繰り返し指導して必要があります。個別に配慮が必要な児童も見受けられます。 - 助詞等の言葉の使い方が身に付いていない児童が多いため、「読む」「書く」学習で、繰り返しの指導をしていきます。	- 漢字の習熟を図るため、復習だけでなく、日記や「書く」学習の中で習った漢字を使うように普段から指導していきます。 「書く」学習や書写の時間に、助詞の使用方法を確認しながら進めていきます。	- 基礎基本については、朝学習や宿題で繰り返し、定着を図ります。 - 児童の理解度に応じて「書く」学習を進めていきます。
算 数	- 時計の読み取りに大きく課題があり、時計の模型を用い、実際に針を動かしながら指導をしていきます。 - 基本的な知識・技能は身に付いていますが、問題をよく読まずに間違えることが多い児童もいるため、丁寧に指導を行っていきます。	1年生時刻の学習も含め、時刻と時間の問題を繰り返し復習します。時計の模型を使い、時間の感覚を身に付けられるようにします。 - 問題文で何を聞かれているのか、どのように答えればよいのか、単位等を丁寧に確認していきます。	- 基礎基本の問題については、朝学習や宿題で繰り返し、定着を図ります。 - 少人数指導をはじめ、課題別に発展的な問題に取り組む学習を取り入れます。

令和7年度 北区立第四岩淵小学校 授業改善推進プラン

＜3年生＞

	基礎基本調査等の結果から（国語・算数）・ 学習の様子	授業改善のポイント	補充学習・発展学習
国 語	- 片仮名で書く語がどのようなものか判断して使用する力に課題が見られます。 - 漢字の筆順や語彙の定着に不十分さが見られます。	- ドリルタイムや国語の授業の始めなどに、前学年までの語彙のプリントに取り組ませます。 - 新出漢字の学習では、新出漢字を使用した熟語を調べる活動や、新出漢字を使用した文づくりを取り入れます。	言葉の単元の学習では、教科書の小問だけでなく、プリント等を活用して発展的な問題にも触れさせていきます。
社 会	- 社会科の基本的な学習の仕方を身に付けさせる必要があります。 - 資料の見方や課題への考え方を育てていく必要があります。	- 基本的な問題解決的な学習の流れで授業を行い、社会科の学習の仕方を身に付けさせます。 - 具体的な資料の読み取り方を指導して活用させるとともに、授業のまとめを文章で書かせる活動を取り入れていきます。	- 地図帳も活用し、地図記号などの基本的な知識の定着を図ります。 - 児童の興味がある事柄についても発展的に調べる時間を設けていきます。
算 数	- 図形の分野では、方眼に長方形などの図形を正しく書く力に課題が見られます。作図を丁寧にしよう意識させるよう声掛けをしていきます。 - 立体の分野では、立体の展開図から必要な面を選択する力に課題が見られます。実物模型で確認する実経験を増やす必要があると考えられます。	作図をする際には、直線や点と線の接点、長さなどを確認して正確に作図できるように意識させて取り組みさせます。	- 算数タイムや宿題で、作図の問題に多く取り組ませるようにします。 - 個別に声かけをすることで、細かな点にも意識が向くようにしていきます。
理 科	観察の仕方や実験の方法、器具の使い方などを十分に身に付けさせるとともに、自然科学に対する興味をもたせるようにする必要があります。	- 問題解決的な学習方法を取り入れた学習を進めていきます。 - 観察・実験器具の取り扱い方や、安全に実験・観察を行う決まりなどは十分に指導を行います。	- 単元の終わりには復習プリントを行い、知識・技能の確実な定着を図ります。 - 児童の実態に合わせ、発展的な実験・観察等も行っていきます。

令和7年度 北区立第四岩淵小学校 授業改善推進プラン

<4年生>

	基礎基本調査等の結果から（国語・算数・理科） 学習の様子	授業改善のポイント	補充学習・発展学習
国 語	・正しく文章を読み取る力は身に付いてきていますが、読み取ったことに対する自分の考えをもつことに課題が見られます。 ・「読むこと」の領域だけでなく、常に自分はどうか考えるのかを意識して授業に参加できるようにする必要がありますが見受けられます。	・友達と考えを交流する場面をできるだけ多く設けるようにします。文章で表現することが難しい児童には、分類した中から選ぶことを繰り返していきます。 ・教師が予想される児童の反応を常に考慮し、児童から考えが出ないときには、いくつか提示して近いものを選ばせるようにします。	・定期的に、日記などの家庭学習の課題を取り入れ、「書くこと」についての意欲を高めます。 ・総合的な学習の時間と連携し、調べたことを基に考察をまとめるようにしていきます。
社 会	・資料の読み取り方や、比較の仕方を身に付けることが課題です。 ・自分の考えや得た情報を受け手に分かりやすくまとめる力を伸ばすことに課題があります。	・グラフや写真、映像資料を読み取る際、どのような点に着目すべきかのポイントを丁寧に指導していきます。複数の資料を比較して分かることについても丁寧に解説等を行います。 ・情報をまとめる例を複数提示して、児童が自分に合ったものを選べるようにします。まとめ方の見本を提示し、参考にできるようにします。	・日常的に目にする資料などを意図的に紹介し、話題にしていきます。 ・国語科や総合的な学習の時間に行った調べ学習等とも関連付けていきます。
算 数	・「表と棒グラフ」において、目盛りの大きさ把握か、比較する数量の対比をすることの技能に課題が見られました。	・表やグラフを書く時には、まず目のあるプリントなどを用意して取り組みさせます。 ・数直線を活用して、比べる数、比べられる数を丁寧に確認し理解を促していきます。	・基礎基本の問題については、繰り返し問題に取り組むことで定着を図ります。 ・少人数指導でノート指導を統一し、表や、グラフ、図を丁寧にかく指導を行っていきます。
理 科	「昆虫の育ち方」「太陽と地面のようす」「じしゃくの性質」などに、理解が十分でない点が見られました。	・各単元において、問題解決的な学習を進めるとともに、観察や実験の結果から考察する場面において、自分の考えをまとめる時間を確保します。また、友達と意見を交流しながらより良い考察ができるよう学習を進めます。	・他教科・領域においても、自分の考えをまとめる時間を確保し、教科横断的に自分の考えをまとめる学習を行っていきます。

令和7年度 北区立第四岩淵小学校 授業改善推進プラン

<5年生>

	基礎基本調査等の結果から	授業改善のポイント	補充学習・発展学習
国語	- 話し合いの内ようを聞き取ることにについて、複数人の意見を聞き、考えをまとめる力に課題があります。 - 物語の内ようを読み取ることにについて、叙述を基に考える力に課題が見られます。 - 調べたことをもとに文章を書くことにについて、自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書くことに課題が見られます。	- 話し合い活動を取り入れ、司会や書記などの役割を輪番で経験させていきます。 - 読み取りに大事な語句にサイドラインを引き、少人数で交流してから自分の考えをもつなどの時間を取り入れます。 - 文章の書き方の基本形を複数示し、自分に適した型を選択できるようにします。	- 学級活動の話し合いの時間等との、教科横断的な学習を取り入れます。 - 週末の日記を継続し、読み手に伝わりやすい文章の構成を意識させていきます。
社会	単元によって学習内容の定着に差があることが課題です。	それぞれの単元における基礎基本的な事項が定着していることを確認した上で、問題解決的な学習を取り入れ、児童の自力解決の力を育て、学習内容を発展させていきます。	- 単元に入る前に、既習事項の振り返りを行います - 調べ学習の時には、効果的な資料を複数用意し、児童が様々な知識を習得、取捨選択できるようにしていきます。
算数	ほぼ全ての分野において学習内容がしっかり定着していますが、単元によって学習内容の定着に差があることが課題です。	正答率が低い分野では、算数少人数指導を活用して基本の定着をより図ります。数直線や具体物等も活用し、視覚的・感覚的な理解を促進します。	- 毎日の家庭学習でドリルを使って復習を行います。 - 算数タイムを活用して基礎事項の再確認を行います。 - 授業の中で教科書の発展的な問題にも挑戦させていきます。
理科	「動物のからだのつくりと運動」「物の体積と力」「自然の中の水」では、知識面の定着に不十分な点が見られ、学習内容と身近な事象と関連付けて考えられないことが課題です。	- 理科の学習における観察や実験、体験を十分に積みせ、学習内容への関心を高めます。 - 記録し、考察する時間をしっかり確保し、自力解決力や周囲の現象に目を向けて考える力を育成していきます。	- 教室環境を整え、理科の学習内容が身近にあることに気が付けるようにします。 - 授業の中で教科書の発展的な問題にも挑戦させていきます。

令和7年度 北区立第四岩淵小学校 授業改善推進プラン

＜6年生＞

	基礎基本調査等の結果から	授業改善のポイント	補充学習・発展学習
国語	- 物語の内容を読み取ることに課題が見られます。 - 漢字を正確に用いて文章を書くことに課題があります。	- 友達の作品や優れた文章を読み、それを参考にすることを通して、文章表現の経験と言語の幅を広げていきます。 - 作文の指導など文章を書く活動を通して、漢字や言葉を使う機会を多く取っていきます。	各教科において、学習感想や実験のまとめを文章として書かせ、文章表現の日常化を図ります。
社会	- 地図および図表からの読み取りと、どんなことを読み取る必要があるのかを問題文からつかむ経験がより必要と考えられます。 - 世界の国々や都道府県の位置、現象名等の基本的な知識も定期的に確かめる必要があります。	教科書や資料から読み取ったことをまとめること、またそれを学級全体で共有して知識・表現方法を高める活動を毎時間丁寧に行います。	理解したことをどのように表現するのかについて、優れた提出物の共有や例示によって伝え、的確な表現で自分の学習内容をまとめる力を伸ばしていきます。
算数	「整数のなかま分け」や「立体と体積」の理解が十分でないため、公式の確認をしたり、基礎的な問題を定期的に練習したりさせる必要があります。	公式をもとに、どの公式を適用して問題を解くのかという解法を児童同士の教え合いを通して確認しながら練習したり、デジタル教材を活用して自主的に学習を進めたりなど、取り残されないよう基礎を練習する時間を確保します。	きたコンなどのデジタル機器を活用して、発展問題や補充の問題に取り組ませます。
理科	「天気の変化」「人のたんじょう」「ふりこのきまり」など理解が十分でない単元が見られます。	映像や観察方法の工夫など、より対象に親しみやすい授業の工夫や、必要な知識のまとめを確実に行うなど毎授業で関心を高め、知識を定着させるようにします。	総合的な学習の時間や委員会活動など、生物や環境を扱う活動にも関連させて学習を進めていきます。